

平成30年度(第62回)
岩手県教育研究発表会発表資料

総合的な学習の時間 / キャリア教育

キャリア教育の具現化をねらった
「総合的な学習の時間」「学校行事」の実践
～第4学年キャリア学習「ぼくたち10才～夢・未来へ向かって～」～

平成31年2月8日
二戸市教育委員会
二戸市立福岡小学校
榊 綾子

キャリア教育の具現化をねらった「総合的な学習の時間」「学校行事」の実践

～第4学年キャリア学習「ぼくたち10才～夢・未来へ向かって～」～

二戸市立福岡小学校 榊 綾子

1 テーマ設定の理由

(1) 本校のキャリア教育の基本的な考え方から

キャリア教育の指導は、学校の教育活動全体において具体的な方法と手立てを組み、実践していく必要がある。教師がキャリア教育の意義を理解し、発達段階に応じて、「総合生活力」「人生設計力」について指導に当たることが大切である。

学級活動、道徳、生活科・総合的な学習の時間、外国語活動、学校行事、各教科において、年間指導計画を基に、復興教育とかかわらせながらキャリア教育の実践を重ねていく必要がある。教育活動の軌跡としてポートフォリオに残すことが重要である。

(2) 学年・学級経営の視点から

① 学年経営の視点から

「10才」という節目の年に、4学年として「自身の夢・未来」について考えていく1年にしていく。

② 学級経営の視点から

- ・本学級の児童は、素直であるが、児童同士の横の繋がりが弱く、自主性に欠ける面がある。
- ・個の実態から、コミュニケーションが不足している児童や自己肯定感の低い児童が複数名いる。

2 テーマに迫るための4つの柱

- (1) 発達段階をとらえた活動の推進
- (2) キャリア教育の意義・よさの理解
- (3) キャリア学習会での振り返りを通した児童のメタ認知の促進
- (4) 学習発表会での発信を通した自己肯定感の育成

3 実践の内容

(1) 発達段階をとらえた活動の推進

4/7 学年開き…「学年スローガン」・学年歌「四つ葉のクローバー」



「10才」を迎えるこの一年、一日一日を大切にしていこう。学ぶことの楽しさ、友達と生活できることの楽しさを土台に、力を出し切る経験、友達や物事のよさを感じながら、「未来に向かってさらに大きくなっていこう」とする一年にしよう。

(2) キャリア教育の意義・よさの理解

自分が教職に就き、初めて担任したのは久慈市立小久慈小学校の1年生であった。数年前、同僚教師から、その教え子の一人が、夢を実現して東京の美容師として活躍しているという話を聞いた。

二戸と久慈、児童と同じ県北出身であるその教え子に、キャリア教育の視点で「夢を叶えるために歩んできた道」「職業人としての日々」について話を聞きたいと思い、勤務先の東京の美容室に手紙を送り、連絡を取り合い、28年ぶりに再会することができた。

話を聞く中で、「技を磨くために日々勉強」「忙しいがとても充実していて楽しい」「お客様は、自分にとってパートナー」という言葉がとても印象的であり、職業人として生き生きと仕事に励んでいる様子が感じられた。その後、美容室への訪問取材の快諾も得て、接客の様子や後進指導の立場にある様子を目の当たりにした。28年前の1年生が職業人として「人のために尽くす姿」「働くことへの喜びあふれた姿」に、感慨深いものがあった。

その後、4年生の子どもたちのキャリア教育の一環として「夢をかなえた県北の先輩の歩みを学ぼう」と題したキャリア学習会のゲストティーチャーを依頼し、「夢を叶えるために歩んできた道」「職業人としての日々」について、電話を繋いで話してもらった運びとなった。



(3) キャリア学習会での振り返りを通じた児童のメタ認知の促進

8/29 キャリア学習会「夢をかなえた県北の先輩の歩みを学ぼう」

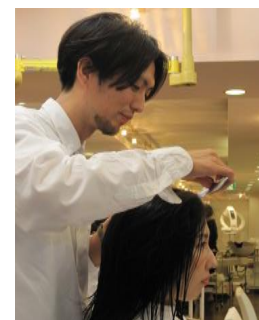
ゲストティーチャー kakimoto arms 田園調布店スタイリストディレクター 細畑 久寿さん
(現 kakimoto arms 二子玉川店)

☆人生設計力 勤労観・職業観 **仕事の大切さに気付く力**

働くことの意義や役立つ喜びを実感し、社会や仕事とのかかわりに気付く能力
(職業に関する知識・技能の習得、勤労観の育成、職業観の育成)

<ねらい> 夢をかなえた県北の先輩の歩みを学び、働くことの意義や役立つ喜びについての関心を高める。

<ゲストティーチャーからの言葉> 「1%の才能と99%の努力」



<キャリア学習会の振り返り>

目の前にあることを一生懸命に
この勉強をして自分にとてやくにた。た
のは、一パーセントのさいのうと九十九パー
セントの努力という言葉が一番心に残りまし
だ。
私はほそはたさんのまじめなところが伝わ
てきました。ほかにもあきらめないことも
大切なことだと思います。働いていたりす
ると大変なこともある、勉強も大事だとい
ことをあらためて気づかせてくれました。
—
ほそはたさんは、五十回くらい練習をして
いると聞いたので、私は色々ごことに練習し
て、できることを多くしていきたいです。ほ
そはたさんが言っていた、目の前にあること
をいっしょうけんめいにとやるということと言
っていたので生活などで、自分からすすんで
目の前にあることをやったりし、みんなのや
くにたてるようにしていきたいです。だからほそ
はたさんのほそはたは自分にとてよかったです。
学んだことを日常で使、ていきたいです。

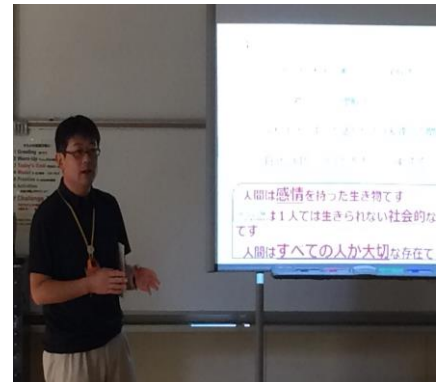
<メタ認知・学習発表会での発表>

今年のロードレース大会、三分台を出した
かった。
試走、三分五十八秒。学年の男子よりも、
速かった。大会では、も、と速く走りたい。
業間に苦しくても五周以上走、た。
ロードレース大会、ヤッター。三分五十五
秒。家族や友達も喜んでくれた。もちろん一
番うれしいのは、自分。99。

9/11 ボランティア学習会「高齢者疑似体験」 ゲストティーチャー 二戸市社会福祉協議会
 9/27 福祉講演会「わたしたちにできること」 ゲストティーチャー 福祉コンシェルジュ小野寺 幸司さん

☆人生設計力 社会を把握する力 **社会を理解する力**
 地域における自分の役割を認識し自分にできることを考える能力の育成(現代社会の理解, 国際社会理解)

- 〈ねらい〉
- ・高齢者疑似体験活動を通して、高齢者の生活について考え、自分も地域の一員として生活をよりよくしようとする態度を育てる。
 - ・高齢者疑似体験活動での振り返りをもとに、福祉に対する理解と心情を深めることを目的に講演していただき、自分も地域の一員として生活をよりよくしようとする態度を育てる。



〈ゲストティーチャーからの言葉〉

「相手の立場になって考え、行動し、みんなが幸せな未来を」

〈学習の様子〉「校報 福翔41号」より

4年生が高齢者疑似体験の振り返りと福祉体験講演を実施しました。

4年生が9月27日(水)2校時に、9月11日(月)に行った「高齢者疑似体験」の振り返りから、自分たちができることを考える「福祉体験講演」を実施しました。講師には、二戸市社会福祉協議会 福祉コンシェルジュ 小野寺 幸司 様をお迎えして行いました。

小野寺様は、高齢者疑似体験を通して「分かったことや感じたこと」、「これから自分の生活に活かしていきたいこと」について、子どもたちの感想をもとにお話ししました。高齢者だけでなく地域社会には様々は困難さを感じて生きている人たちがいることを分かったうえで、自分に何ができるかを考えてほしいと話されました。そして、今回の高齢者疑似体験を通じて、「相手の心や立場に立って考え行動する」ようになってほしいと話されました。

子どもたちは、この体験から大変さを感じ、これからの生活に活かしていきたい思いをもつことができました。小野寺様が言う「考え、行動する」人になってほしいと思います。お忙しい中、2回も本校に足を運びご指導いただきました小野寺様ありがとうございます。

昨日の夕方、地域の方からとてもうれしくなる電話をいただきました。

9月27日(水)、子どもたちが下校した後の夕方に、九戸城の近くにお住いの女性の方から電話がありました。その内容は、「道路わきに湿地帯のような場所があり、そこに、誰が捨てたかわからないけれども空き缶がたくさん捨ててありました。それを見た福小の男女2人組が、足場の悪いところを必死になって空き缶を拾っていたことがうれしくて電話しました。」「その2人組に聞くと4年1組と2組の子どもたちでした。量も多く、汚れていたもので、うちに置いて行ってもいいよ、捨ててあげるからと言ったのですが、自分たちで捨てるからと言って、持ち帰ったことも素晴らしいです。」という内容の電話でした。電話を受けた照井先生から話を聞いた瞬間に、職員室内に拍手が大きく響きわたり、職員から歓声が上がりました。

相手の立場に立って考え行動できた4年生ありがとう！この行動が全校に広がってほしいです。

〈キャリア学習会の振り返り〉

〈メタ認知・学習発表会での発表〉

高齢者疑似体験の振り返りと
 僕たち私たちにできること
 4年 〃組

課題 ほかたち、わたしたちにできることを
 考えよう。

ふり返し

今日は、福祉体験を通して、いろんな人がいて学校にかよっていることが分かった。で、いろんな人たちに心からかみしたい。
 人間は感情を持った生き物
 人間は1人では生きられない社会的な生き物
 人間はすべての人が大切な存在
 だからこそ人をさすつげずに助け合っていて、おたがいに人を大切にしていまます。あ、くん、くんが来たよ。いいし、いなかよく遊んだりして、ときには相手の立場で考え行動して、これからは誰にもやさしい地域にして、言葉もか助け合っていく。甲にしていきたいです。

お店に行つた時、いんぱさんとベビーカーに乗つた赤ちゃんがいた。赤ちゃんのくつが落ちていたので私は、くつを拾つていんぱさんに届けてあげた。いんぱさんは、「ありがとう。」とお礼をしてくれました。私は、うれしかったです。

☆人生設計力 将来設計力 **目標をもち、努力する力**
自分の将来について考え、夢の実現のために努力する能力
(進路選択力, 進路情報活用能力, 人生観)

〈ねらい〉 自己肯定感を高め、夢や将来への希望をもち、社会の一員としての自覚を育てる。

〈ゲストティーチャーからの言葉〉

- 「わくわくどきどきを大切に」
- 「夢をかなえるための1・2・3の法則」
 - 1 自分を好きになること
 - 2 夢をもつこと
 - 3 夢に向かって具体的に行動すること



〈学習の様子〉「校報 福翔45号」より

4年生が将来の夢や仕事について考える「ドリームマップ授業」を実施しました。

4年生は、9月22日(金)の1校時から6校時までの6時間で、「ドリームマップ授業」を実施しました。この授業は、認定ドリマ先生の金浜順子様をはじめとしたドリームマップ普及協会の皆様のご協力により、今年度初めて実施することができました。子どもたちにとって、将来なりたい自分の姿をイメージし、この授業を通して台紙に写真や文字で表すことで、「将来の夢や仕事」について考えることのできる、またとない貴重な時間となりました。ご指導いただきましたドリームマップ普及協会の皆様ありがとうございました。子どもたちのドリームマップを見るのがとても楽しみです。ご家庭でもお子様とお話いただければと思います。

〈キャリア学習会の振り返り〉

〈メタ認知・学習発表会での発表〉

ドリームマップで夢に、ちよくせん
ぼくは、今日、ドリームマップを作りました。
ぼくは、ダンサーになりたいと思
ていました。そして、みんなドリームマップ
を作り始めました。ドリームマップに愛し
うごこめながら作りました。作り終あ、て
5時間目に発表しました。ダンサーになりた
いと思、た理由は、
「今、ダンスを習、ていて、か、こいいな愛
しいなと思、たからダンサーになりたいな
と思、ました。」
と言、ました。
発表終あ、て、ふりがえりて、
「人生で初めてこうい、た体けんかできたの
で楽しか、たし、みんなそれをあうかう
夢をも、ていたので、い、ばいおうえんした
あけて夢をかなえさせ、てあげたいです。」
と言、たので、せ、たいみんなのすてきな夢
をかなえさせ、てあげたいです。

ぼくのイメージカラーは「水色」。
青空のように、さわやかなマッサーツしに
なりた
い。
そしてお父さん、お母さん、おはあちゃん
地いき人のマッサーツもしてあげたい。

ドリームマッププロジェクト、一、二時間目。ド
キドキして、発表することができた。
三、四時間目。ドリームマップを夢中で
作、った。
五、六時間目。ドリームマップの発表。私
は、ドキドキすることがきらい。でも、自信
をも、て、コンピューターぎしになる夢を發表
した。みんなが笑顔で、ほく手をくれた。私
は、ドキドキすることが好きにな、った。

(4) 学習発表会での発信を通じた自己肯定感の育成

☆総合生活力 豊かな人間性 **人とかかわる力**

互いのよさを発揮しつつ至らぬところを補い合う能力

(友人関係能力、相手を思いやる心、人間関係調整能力、自己肯定感、向上心の育成)

〈ねらい〉 発表会作りを通して、キャリア学習会での学びを深めると共に、学びを発信するために必要な力を育てる。

〈合言葉〉 「シャウト」…心のエネルギー・熱量

H29 福岡小学校学習発表会 第4学年発表

「ぼくたち10才～夢・未来へ向かって～」

時	発表	♪歌・身体表現	☆児童動き	★スクリーン
2分	♪ 「RPG」(SEKAI NO OWARD)	空は青く澄み渡り 海を目指して歩く 怖いものなんてない 僕らはもう一人じゃない 大切な何かが壊れたあの夜に 僕は星を探して一人で歩いていた ペルセウス座流星群 君も見てただろうか 僕は元気でやっつてよ 君は今「ドロ」にいるの	☆上・下手ながら歌いながら同時入場	
1()		10才のわたし 夏、太陽がまぶしかった どこまで伸びるの、へちま		
2()		10才のぼく 今年の夏こそ水と仲良くなって、 25m泳ぎたい		★へちま
3()		夜空に夏の三角。		★ブルー
4()		3つの1等星を見つけた		★夏の三角
(全員)		10才の夏、いつもとは違う夏		
5()		夢・未来へ向かって		
6()		「3つの1等星」と出会った		
3分	♪ BGM「蕾 オルゴール」	見つけた 1つ目の1等星 「1%の才能と99%の努力」 8/29 キャリア学習会 「夢をかなえた東北の先輩の歩みを学ぼう」 榎先生が、先生になって初めて担任した久慈の教え子 細畑久寿さん 28年前の1年生が、東京の美容師として、 「お客さんの喜びが自分の喜び」をモットーに、仕事をしている 電話をつないで、私達と一緒に学習をしてくれた 一つの髪型を極めるために、80回もの繰り返し練習 はさみで手を切ることもある お客さんとの信頼関係を築くために 目の前のことに本気で取り組む 細畑さんが、ぼくたちにプレゼントしてくれた言葉 「1%の才能と99%の努力」 キャリア学習会からの学び発表 1 キャリア学習会からの学び発表 2	☆ ウィンド チャイム	★「1%の才能と99%の努力」 ★「キャリア観」 ★「小浜入学式」 ★「1年白虎隊」 ★「こーもん」 ★「学習帳」 ★「シヨウ」 ★「細畑さんお母さん」 ★「はさみアップ」 ★「1%の才能と99%の努力」

時	発表	♪歌・身体表現	☆児童動き	★スクリーン
2分	♪ 「RIVER」(AKB48)	HKBS8 田へ、朝へ、まつくすぬめ 川を渡る君の目の前に 川が流れる広く大きな川だ 深く深くも 流れてくても 枯えなくていい 離れていても そうだ 向こう岸はある もっと 自分を信じてよ 君の心にも 川が流れる 汗と涙の川だ 失敗してしまっても 流されてしまっても やり直せばいい 習習とくなくよ 夢にしがみつくんた 願い叶う日くるまで YOU CAN DO IT (全員) YOU CAN DO IT 自分を信じてること	☆歌・ダンス	
1分	♪ BGM「ありがとう オルゴール」	見つけた 2つ目の1等星 「相手の立場になって考え、行動し、みんなが幸せな未来を」		★「相手の～」
22()		9/11 ボランティア学習会		★「ボランティア学習会観音」
23()		「高齢者疑似体験」	☆ウインド チャイム	★「高齢者疑似体験場面」
24()		ぼくのひいおばあちゃん〇才		
25()		高齢者になるって、どんな感じかな		
26()		二戸市社会福祉協議会の方々にご協力いただき		
27()		高齢者に変身してみた		
5分		福岡小学校の経験。何で書いてるんだか 10月28日土曜日、学習発表会 おっ、今日か。よし、見に行っか 高女() そうするとしましょ。よいしょ 子女() ゆっくりでいいよ。杖使って 高女() 下り階段は、落ちそうでおっかないな 子男() ぼくが先に下りよ。肩につかまって 高女() のど乾いたな。自動販売機でお茶っこ160円か。 子女() おばあちゃん、私がかわろうか 高男() やつと着いたな。床は膝が痛くてな 子男() おじいちゃん、あつたよ敬老節 高女() おお、これは助かる 子女() ゆっくり見てってね。私達、ステージがあるから 高男() これはこれは、〇〇さん、お孫さん、何年生ですか 高男() はっ？ お孫さん、何円ですか。 高男() いやいや、お孫さん、何年生ですか 高男() はははは、4年生だ。 高男() わしらは福岡小のおんぼく坊主とおてんば娘だったの。はっはっはっは 高男() 子どもたちの元氣は、おしらの喜びだな。頑張れよ 28() おいちゃん、おばあちゃん、声援ありがとう 29() 高齢者や障がい者だけでなく 30() 子どもや妊婦さんなど 31() ちよつとした手助けが必要ながいるよ。 32() 福祉コンシェルジュ小野幸司さんが教えてくれた 大事なこと (全員) 「相手の立場になって考え、行動し、みんなが幸せな未来を」 33() ボランティア学習会からの学び発表 1 34() ボランティア学習会からの学び発表 2		

時	発表	♪歌・身体表現	☆児童動き	★スクリーン
4分	♪ BGM「夜空ノムコウ オルゴール」	見つけた 3つ目の1等星 「わくわくどきどきを大切に」 9/22 ドリームマップ授業 「自分の未来について考えてみよう」 ドリームマップ協会の先生と 自分の夢・未来について、1日中じっくり考えてみた ドリマ発表 1 ドリマ発表 2 ドリマ発表 3 ドリマ発表 4 ドリマ先生が教えてくれた 「わくわくどきどきを大切に」 58人58色の「夢・未来」 夢をかなえるための1・2・3の法則 1 自分を好きになること 2 夢をもつこと 3 夢に向かって具体的に行動すること ドリームマップ授業からの学び発表 1 ドリームマップ授業からの学び発表 2 一人一人夢を持っている、素敵な仲間 自分の夢をかなえたい そして、みんなの夢も応援していきたい	☆ ウィンド チャイム	★「わくわく～」 ★「ドリーム観音」 ★「ドリマ先生」 ★「ドリマ作成」 ★「ドリマ交流」
(女子)		10才のわたし、もっと、もっと 強くなりたい		
(男子)		10才のぼく、もっと、もっと やさしくなりたい		
(全員)		10才のぼく、わたし。しっかり、しっかり夢んでいきたい		
(全員)		自分のために、みんなのために、未来のために		
2分	♪ 「四つ葉のクローバー」(横原敬之)	あげるよと言って 差し出した君の 指先風に震える四つ葉のクローバー 見つけた人は 幸せになれるんだと ずっと君が探してくれたいたもの 見つかりっこないと諦めれば 幸せなんて見つからないよと笑う君 この目でみることが出来ないからといって そこにはないと決めつけてしまうことは 夢とか希望とか絆とか愛が この世界にはないと決めつけることと同じなんだ	☆ 全員ドリマ	★「わくわく～」 ★「1・2・3法則観音」
52()		三つの一等星がぼくたちの中にいつまでも輝き続ける		
53()		これで「ぼくたち10才～夢・未来へ向かって～」を終わります 礼	☆歌	★「4年生日常 生活・学習場面」
			ドリマ裏 四つ葉の クローバ ー掲げる	

学年通信「ぼくたち10才～4年 四つ葉のクローバー～」

学習発表会に向けて

明日は、学習発表会総練習です。全校の前で発表することができる最初で最後の場です。そこで「総練習本番」と位置付け、「夢・未来へ向かっていく全校のみんなにも、4年生の3つのメッセージをしっかりと届けよう」という目当てをもち、練習に励んでいます。
「3つのメッセージ」とは、2学期の総合的な学習の時間に行ったキャリア学習・福祉学習において、それぞれのゲストティーチャーからいただいた言葉です。

- ★「1%の才能と99%の努力」…ストイック(自分)
- ★「相手の立場になって考え、行動し、みんなが幸せな未来を」…ハビネス(社会)
- ★「わくわくどきどきを大切に」…フューチャー(未来)

この3つの言葉を「ストイック」「ハビネス」「フューチャー」と置き換え、「自分を鍛えよう」「社会に貢献しよう」「未来に向けた行動をしよう」と、学習発表会練習や日常の学習・生活の姿勢として学年全体で取り組んでいます。これも学習発表会取り組みの「大きな宝」と考えています。
土曜日の「発表会本番」、58名の子どもたちが創り上げる発表をぜひご覧ください。
※子どもたちにお知らせしていましたが、発表会の服装は、私服です。

「ぼくたち10才」58名で創り上げた！学習発表会

学習発表会当日、「今日がラストの発表。後悔することなく、表現することを思いっきり楽しもう」と、心一つにステージに上がりました。

2学期のキャリア教育・福祉教育での学びを柱に、よびかけ・歌・ダンスと精一杯表現する子どもたちの姿に、担任も感動をもらいました。

ゲストティーチャーの方々からいただいた3つの言葉「ストイック」「ハビネス」「フューチャー」と共に、もう一つ子どもたちが築き上げたものがあります。それは「シャウト」です。単なる「叫ぶ」という意味だけではなく「心のエネルギー・熱量」です。「10才」という節目の年に、「自分にチャレンジ、みんなでチャレンジ」をスローガンに取り組んだ学習発表会が、今後の成長の糧になってくれればと願っています。

練習過程での激励のお言葉、ありがとうございました。

